

保育園(5歳児)小学校第1学年連携なかよしタイム(学校裁量の時間)学習活動案

指導者 福岡市立□□小学校 1年0組 ○○○○
支援者 ◇◇◇◇◇保育園 ☆☆☆組 ▽▽▽▽

1 活動名 玉入れゲームをしよう

2 本時 平成19年11月22日(木) 5校時 □□小学校 体育館

3 本時の目標

〈1年生〉

○ 「10よりおおきいかず」で学習したことの定着を図りながら、玉入れゲームをすることが出来る。

○ 保育園の子どもたちの様子や状況を考えながら、優しさや思いやりをもって行動することが出来る。

〈5歳児〉

○ 数に興味をもちながら、楽しく遊ぶことが出来る。

○ 一緒に活動する中で、1年生に対する憧れの気持ちをもつ。

4 本時指導の考え方

〈1年生〉

1年生では、□□タイム(学校裁量の時間)を使って、1学期、ブロックなどを使った操作活動やカードゲーム、プリント学習をしてきた。算数科学習では、9月に「10よりおおきいかず」を学習し、20までの繰り上がりのたしざん、繰り下がりのひきざんを学習しているところである。

保育園児と1年生の交流は、本時まで3回、なかよしタイムで行っている。(P12～P14参照)保育園児2名と1年生3、4名の10の混合グループで、算数の学習につながる内容を遊びの中で学んできている。

本時では、前回と同じグループで玉入れゲームをする。このゲームは、数えたり、数を比べたりすることで、数の概念形成に役立つゲームである。ゲームは次の手順で行う。

①数メートル離れたところに段ボール箱を置く。

②1グループの松ぼっくりの数を20個にする。

③松ぼっくりを投げ入れる練習を数回する。

④グループ対抗の玉入れ競争を行う。

⑤箱に松ぼっくりが入るたびに、松ぼっくりの絵をグラフに貼る。

⑥箱の中の松ぼっくりの数を数える。

⑦グラフの絵の数と合っているか確かめる。

⑧どのグループがたくさん入れたか、数を比べる。

グループで遊ぶ時には、1年生が園児に投げ方を教えたり、励ましたり、褒めたりして、園児への思いやりをもって行動させたい。また、1年生が園児を並ばせたり、数を一緒に言ったりして、リーダーシップをとらせたい。

ゲームの後には、生活科で作った秋のおもちゃや飾りを、園児にプレゼントして、生活科で学習したことで、園児を喜ばせたい。

〈5歳児〉

保育園では、文字遊びを通して文字(数字や漢字)に触れている。数字に関しては、毎日の日付や出席人数確認の際、声に出して数字を読み合わせることで、数字や数の獲得に努めている。

年長児においては、「あいうえおとすうじ」(保育教材)を使って、1～10の物の数と同じ数の丸に色ぬりをし、興味をもたせている。遊びの中で学ばせながら取り組むことで、より一層、数字に対する興味・関心が深まっているように感じる。発展として、給食やおや

つの時間、着替えなど、生活の流れを時計を使って知らせている。

今回の交流を通して、1年生に対する憧れの気持ちが高まり、就学への緊張が和らいできている。本時の活動の中で、1年生と一緒に数を数えたり、比べたりすることにより、数字や数の獲得へとつなげたい。

5 準備

教師；段ボール箱10個，グラフ枠をかいた模造紙，松ぼっくりの絵，
 児童；松ぼっくり
 園児；松ぼっくり

6 本時の展開

保育園保育士の支援	子どもの活動	教師の支援(○)と評価の観点(*)
○ 意欲的に参加できるように，どんなことをするか話しておく。	1 本時のめあてを確認し，活動の見通しをもつ。	○ 本時の活動内容を分かりやすく話して，活動への意欲をもたせる。
<p>〈1年生〉10より大きい数を比べて，保育園の友達と楽しく玉入れゲームをしよう。</p> <p>〈5歳児〉玉入れゲームを1年生といっしょに楽しもう。</p>		
<p>○ ゲームの内容とルールを伝え，理解できていない子には，わかりやすく説明する。</p> <p>○ 保育士も一緒にゲームに参加し，楽しい雰囲気を進めていく。</p> <p>○ 戸惑っている子に声をかけ，楽しく参加できるようにする。</p> <p>○ 子ども達が安全に活動しているか全体を見回す。</p> <p>○ うまく入れることができた子を褒め，自信へとつなげていく。</p> <p>○ 1年生と一緒に数を数えるようにする。</p>	<p>2 玉入れゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉入れの練習をする。 ・玉入れ競争をする。 ・5グループずつの競争にする。 <p>・箱に入ったら，松ぼっくりの絵を貼る。</p> <p>・箱に入った松ぼっくりの数を数え，絵の数と合っているか確かめる。</p> <p>・数の大小を比べる。</p>	<p>○ 実際にやって見せる。</p> <p>○ どの子も平等にゲームに参加できるようにルールを確かめさせる。</p> <p>* ゲームのやり方を理解して，活動の見通しをもったか。</p> <p>○ 安全に遊んでいるか全体を把握する。</p> <p>○ 1年生が園児に優しく関わっているか配慮する。</p> <p>○ 園児に教えている子や手伝っている子を褒める。</p> <p>○ 困っている園児，1年生がいないか気を配る。</p> <p>○ 箱に入ったら，松ぼっくりの絵を貼るように助言する。</p> <p>○ 終わりの合図をして，すわらせる。</p> <p>○ 5グループずつ数えさせる。</p> <p>○ 箱の中の松ぼっくりを出す子どもと，松ぼっくりの絵を指す子どもに分け，同時にゆっくり数えることができるようにする。</p> <p>* 松ぼっくりの数を正しく数えることができたか。</p> <p>○ 10のまとまりが分かるようにグラフに点線を入れておく。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども達が1年生に親しんで関わっているか見守り，適宜声かけする。 ○ 1年生からのプレゼントを受け取った時に，お礼を言うように助言する。 ○ 今回の活動で体験したことの感想をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 3 グループの1年生から，そのグループの園児にプレゼントをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントわたし ・プレゼントの紹介 4 本時のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく遊べたか。 ・数の数え方 ・自然の物の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフで数の大小を確かめさせる。 * 数の大小を比べることができたか。 ○ プレゼントとして秋の自然の物で作ったおもちゃや飾りを用意しておく。 ○ おもちゃや飾りをどのように使うかを教えるように助言する。 ○ 数えるものを1つ1つ取り出しながら数えたことと，グラフに表して数を比べたことを振り返らせる。 ○ 園児が楽しめたかどうかを尋ね，楽しませる喜びを味わわせる。 ○ これまでの交流を振り返らせ，次回の交流に期待をもたせる。
--	--	--